

公認卓球コーチ1  
資格概要

2026.04.01

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本卓球協会	
養成目的		地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する指導者を養成する。クラブやサークルにおいて、初心者や子供たちを対象に卓球競技の基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。	
役割		卓球競技の基礎的な知識・技術に基づき、発育発達段階や対象者の目的に応じた適切な指導を行う。	
養成講習会に係る内容	受講条件	(公財)日本卓球協会登録会員であり、受講年度の4月1日現在満18歳以上で、スポーツクラブ等において卓球競技の指導にあっている者、もしくはこれから指導者になろうとする者	
	受講科目	共通科目	共通科目 I (45h)
		専門科目	専門科目コーチ1(20h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目 I : 15,400円(税込) ※別途リファレンスブック代: 3,300円(税込)
		専門科目	受講料: 15,400円(税込)、テキスト代: 卓球コーチング教本改訂版 3,080円(税込)※実施団体が別途定める場合がある
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>■講習会 集合講習16h、その他4hとし、都道府県卓球協会(連盟)が実施する。 ※その他(4h)について 事前・事後学習については、所定のレポートを提出</li> <li>■検定試験 指導技術は受講時間内に判定、指導理論はレポート提出等により判定する。</li> <li>■審査 各都道府県卓球協会(連盟)において審査する。</li> </ul>	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料: 10,000円	
		資格別登録料: 5,000円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ): 3,300円	
更新登録要件	(公財)日本卓球協会登録会員であり、資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本卓球協会が定める研修又は日本スポーツ協会(都道府県スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項			

## 公認卓球コーチ1

2026.04.01

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	卓球の現状(親子・スポ少・クラブ・学校・実業団・プロ・ラージ)	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	②	コーチの役割	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	③	指導現場におけるハラスメント対策	1.00 h	0.50 h	1.50 h
	④	安全対策(年代別・熱中症・感染症)	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑤	卓球の特性(用具とグリップを含む)	1.00 h	0.50 h	1.50 h
	⑥	ゲームとルール	1.00 h	0.50 h	1.50 h
	⑦	フェアプレイとスポーツマンシップ	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑧	スポーツインテグリティ・コンプライアンスの確保	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小 計			7.50 h	3.50 h
② 卓球技術	①	トレーニングとコンディショニング	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	②	基本姿勢(攻撃型・守備型)	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	③	サービスとレシーブ	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	④	フォアハンド打法	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	⑤	バックハンド打法	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	⑥	ツッツキ・ブロック・カット	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	台上処理(台上の技術)	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	⑧	初心者の練習方法(フットワーク含む)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小 計			5.00 h	0.00 h
③ 指導演習	①	多球練習	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	個人の指導・集団の指導	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	対象に応じた指導法(発育発達に応じた)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	指導計画の立案・実施・評価	0.50 h	0.50 h	1.00 h
	小 計			3.50 h	0.50 h
			<b>16.00 h</b>	<b>4.00 h</b>	<b>20.00 h</b>